

ファッションデザイン工学・マーケティング

テーマ	講師	講義内容
14. アパレル概論	山田 昭 JUKI(株)縫製研究所技術顧問	縫いの基本知識・縫製トラブル・縫製設備など、および製造現場における生産管理の知識と活用について
15. 色彩心理	高橋 正 多摩美術大学教授	テキスタイルのカラー企画のための色彩による心理効果
16. 知的財産	井上 勝 (公財)あいち産業振興機構	産業財産権の基礎知識と最近の話題から知っておきたい知財の活用事例
17. ファッション情報	車 純子 オフィス・クルマ代表	テキスタイルコーディネータとしてのものづくりの視点とビジネス展開の実際
18. マーケティング I	田畑 敏文 田畑委員会 代表	繊維業界の構造と実情について繊維原料分野から繊維商社までの各分野について詳述
19. マーケティング II	田畑 敏文 田畑委員会 代表	我が国のアパレル産業史について明治初頭から今日まで動画などを活用して具体的に解説
20. マーケティング III	田畑 敏文 田畑委員会 代表	アパレルを取り巻くファッション業界の現状と課題について詳述するとともに3回の講義をまとめる
21. マーケットセミナー	栗山 志明 (株) プレール代表取締役	各シーズンごとのコレクション分析に見る市場予測の解説

試作開発実習

テーマ	講師	講義内容
22. 織物企画設計 (グループ分け)	FDC匠ネットワークメンバー	糸作りから仕上げまでの手順の説明 数人のグループに分かれ、試作品のコンセプトを検討
23. 織物企画設計 (全体計画)	FDC匠ネットワークメンバー	コンセプトを確定し、スケジュール、手順、分担等の全体計画、工程別指図書を作成
24～27. 織物(ニット) 試作開発	FDC匠ネットワークメンバー	グループごとに織物(ニット)の試作開発
28. 成果発表会	企業代表者等	グループごとに着眼点・制作意図などを発表後、出席者より、講評を仰ぐ

平成28年度 試作開発実習で制作された作品

試作開発実習の進め方:受講生が4グループに分かれ、グループごとに匠講師が指導を行う。グループごとに制作目標を決めた。全グループとも「梳毛糸」で撚糸・染色・製織・製編を行い、生地を作成し、図1～4の作品を制作した。これらの作品は平成29年2月に開催された総合展「THE 尾州」で発表された。



図1 婦人服

地のヘリンボーンと刺し子を組み合わせ合わせた。刺し子は白色とし、柄を目立たせ、ガウン調に制作した。



図2 ニット (婦人服)

左胸部、袖、衿にはクリアーシルキー加工を他はクレーター加工を行ったトレーンチコートを製作した。



図3 紳士服

色相、柄、スタイル相互に主張しつつもバランスのとれたジャケットを制作した。



図4 婦人服 (ジャカード)

寒色系の濃度差の少ないグレンチェックにジャカードでレンガ色の花を織り込んだシンプルなワンピースとした。

平成28年度修了者の声(抜粋)

- ・一年間、共に勉強して、たくさんの企業の方々と知り合えたことである。繊維のすべてを学び、勉強になることばかりでした。
- ・匠講師から普段、勤務先では学べないことが多く学べた。
- ・日常業務とは違う工程、企画・小売りといった業界全体を学ぶことができたことはたいへん刺激的であり、世界観が広がった。